

世界初!! キャンディを燃料として使用したハイブリッドロケットの打ち上げを実施

「Candy Rocket Project」のご案内

～2015年3月7日(土) Lift Off !!～

【会場】コスモパーク加太（和歌山県和歌山市加太）

【日時】3月7日(土) 11:00～16:30（受付開始 9:00～）

※フリーフィングは 9:30 より開始予定

※当日の天候状況に応じて、上記時間内で 2 回打ち上げ予定

※天候状況による実施可否については、事務局までお問い合わせ下さい

※ロケット打ち上げ事前撮影は、10:30 迄

キャンディを燃料として使用したハイブリッドロケットを打ち上げる Candy Rocket Project 実行委員会は、2015年3月7日(土)、コスモパーク加太(和歌山県和歌山市加太)にて、Candy Rocket の打ち上げを行います。

『Candy Rocket Project』は、宇宙研究・ロケット開発の権威 3 名の方々を中心として始動いたしました。元 JAXA・国立天文台チリ観測所 阪本成一 教授の「糖分を多く含む高カロリー食品を用いたハイブリッドロケットを飛ばすことができればインパクトが大きいのではないか」というアイデアをきっかけとし、秋田大学 秋田宇宙開発研究所 和田豊 所長がキャンディを使用したハイブリッドロケットのエンジン部分の設計・開発を担当、和歌山大学 宇宙教育研究所 秋山演亮 所長がハイブリッドロケットを安心・安全に打ち上げるための環境手配を担当。また今回、当プロジェクトに賛同頂いたUHA味覚糖株式会社より、ハイブリッドロケットを打ち上げる燃料として、ソフトキャンディ(ぷっちょ)を提供頂き、プロジェクトを実施することが可能となりました。

キャンディでハイブリッドロケットを飛ばすのは世界で初(※2015年3月4日時点、Candy Rocket Project 実行委員会調べ)。3名の先生方は、「身の回りにある材料、今回はキャンディでも創意工夫をすればロケットだって飛ばすことができる」「ロケットとはこんな物と決め付けず、自由な発想力を持ってもらいたい」「一見ばかばかしいように見えることを、たくさんの大人たちが真剣に、一生懸命取り組んでいる姿を見てほしい」といった、子どもたちに宇宙、科学への興味を持ってもらい、想像力の大切さ、科学の面白さ、世の中は自由だと感じてほしいというメッセージを当プロジェクトへ込めています。当日は、宇宙・ロケットに興味を持つ小中学生約 20 名を招待し、Candy Rocket の打ち上げに立ち会ってもらいます。

つきましては、業務ご多忙の折かと存じますが、ご取材賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「Candy Rocket Project」 URL : <http://www.uha-mikakuto.co.jp/candyrocket/>

【お問い合わせ先】

『Candy Rocket Project』PR 事務局(株ウインドワード内)

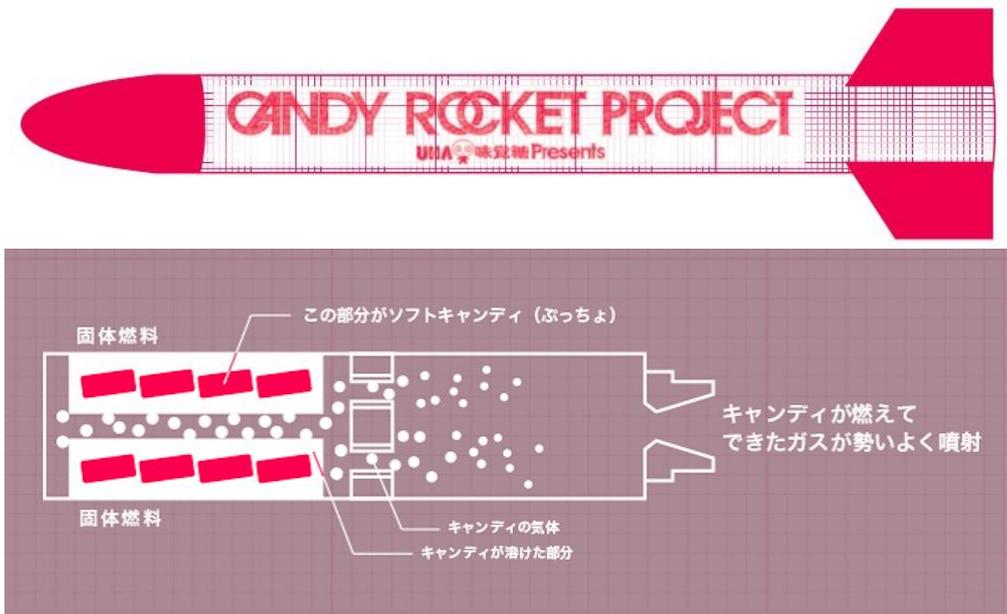
TEL: 03-5459-5452 FAX: 03-5459-5453

担当: 蒲澤(がわざわ) MOBILE: 090-2330-8609

【ハイブリッドロケットとは？】

固体の燃料と液体の酸化剤、2種類の推進剤を組み合わせたエンジンシステムを搭載したロケットです。安全面、環境面、コストや性能などに優れ、次世代の宇宙輸送ロケットとして注目されています。

一般的なハイブリッドロケットでは、樹脂やゴム、ワックス等が固体燃料として使われますが、このプロジェクトではなんと、身近にあるソフトキャンディを固体燃料として使用します。キャンディで、一体どうやってロケットが飛ぶのかというと、まず、キャンディが詰まった筒状の燃焼器に酸化剤である液化ガスを入れます。すると、キャンディが溶けながら燃えはじめ、ガス化したものが勢いよく噴射されます。その力によって、ロケットが大空へと飛び立つという仕組みです。1本のハイブリッドロケットで使うキャンディの数は、約20個。ロケットを空高く飛ばすには、このキャンディを十分に燃やす環境を作ることが重要となります。



【Candy Rocket 開発者について】

■秋田大学 秋田宇宙開発研究所 所長 和田豊(わだ ゆたか)

大学院工学資源学研究所、附属ものづくり創造工学センターに所属。

専門は航空宇宙工学。

「小型ロケット開発による産業創出」「宇宙輸送系人材の育成」

「専門性の高い宇宙要素技術の開発」を目的とする秋田宇宙開発研究所所長。

本プロジェクトでは、機械工学やロケット推進工学の知識を応用し、

キャンディを使用したハイブリッドロケットのエンジン部分の設計・開発を担当。



■和歌山大学 宇宙教育研究所 所長 秋山演亮(あきやま ひろあき)

専門分野は惑星表面探査、宇宙教育。

小惑星探査機「はやぶさ」や月周回衛星「かぐや」メンバー。

当プロジェクトでは、ハイブリッドロケットを安心・安全に打ち上げるための環境手配を担当。



■国立天文台チリ観測所 教授 阪本成一(さかもと せいいち)

2014年7月まで JAXA 宇宙科学研究所で宇宙科学広報・普及主幹として、宇宙科学研究に関わる普及・教育・渉外活動全般を行う。専門分野は電波天文学と科学コミュニケーション。

当プロジェクトでは、糖分を多く含む高カロリー食品を用いたハイブリッドロケット実験の可能性、アイデアを提案。



「Candy Rocket Project」

ご出欠確認書

該当するものに○を付けて下さい。

3月7日（土）会場：コスモパーク加太（和歌山県和歌山市加太）

受付：09：00	ご出席	ムービー	インタビュー 希望	あり	ご欠席
開始：11：00		スチール		なし	

◎大変恐縮ですが、上記必要事項をご記入の上、3月6日（金）までにFAXにてご返信頂きますようお願い申し上げます。

貴社名： _____

媒体名： _____

御所属： _____

御芳名： _____（計 名）

TEL： _____

FAX： _____

備考欄： _____

「Candy Rocket Project」PR 事務局(株ウインドワード内)

FAX: 03-5459-5453

担当： 蒲澤(がわざわ) MOBILE: 090-2330-8609